

なんば駅(地下鉄御堂筋線・四つ橋線・千日前線) ③

上方演芸のまち・千日前を歩く

なんば駅(南海本線・高野線) 大阪難波駅(近鉄難波線・阪神なんば線)
JR難波駅(JR大和路線)

「大阪あそ歩マップ集」
その2 No075



地下鉄なんば駅

① 新歌舞伎座跡

「昭和の興行師」こと松尾國三(1899~1984)が昭和33年(1958)に建設。当時は歌舞伎は観客動員に陰りが出ていた時期でしたが、人気歌手や映画俳優を中心に「座長芝居」「歌手芝居」を月替わりで公演するスタイルで大成功を収めました。その後、ほとんどの商業劇場が追随したことから現代商業劇場の興行スタイルの走りです。建築家・村野藤吾(1891~1984)の設計で桃山時代を思わせる独特の外観が親しまれましたが、建物の老朽化を理由に平成21年(2009)に閉幕しました。



② 映画興行発祥の地

リュミエール兄弟が発明したシネマトグラフを稲畑勝太郎(1862~1949)のちの大阪商業会議所第10代会頭が持ち帰り、明治30年(1897)、当地にあった「南地演舞場」で日本初の映画興行が行われました。その後、昭和28



年(1953)に東宝の興行拠点・南街会館が落成され、阪急創業者の小林一三が記念プレートを残しました。南街会館は平成16年(2004)、老朽化のため閉幕。平成18年(2006)に「なんばマルイ」(8~11階にTOHOシネマズなんば)が開業しました。

③ 楽天地跡

明治45年(1912)、「ミナミの大火」が発生。壊滅的被害からミナミを復興させるために、南海電鉄は千日土地建物(のちの日本ドリーム観光)を設立。大正3年(1914)、地上3階建ての一大娯楽レジャーセンター「楽天地」を建設しました。大劇場と2つの小劇場、メリーゴーランド、ローラースケート場、水族館、展望台などがあり、夜間はイルミネーションが配され、一躍、大阪随一のハイカラな名所となりました。しかし昭和5年(1930)に閉鎖され、跡地に大阪歌舞伎座が建設されました。

④ 大阪劇場跡

昭和8年(1933)竣工で3000名規模の収容人員を誇る関西随一の大劇場でした。大阪松竹少女歌劇団(OSSK)の本拠地で、笠置シズ子や京マチ子といったスターを生み出しました。現在はなんばオリエンタルホテルとなっています。

⑤ なんばグランド花月

日本最古の芸能プロダクション・吉本興業の本拠地です。「吉本新喜劇」がほぼ毎日公演されており、地方の団体客が数多く訪れています。

⑥ ワッハ上方

平成8年(1996)に開設された上方演芸を紹介するミュージアムです。貴重な芸人、コメディアン、タレントたちのビデオライブラリーが数多く保存されて閲覧できます。

地下鉄・南海なんば駅

